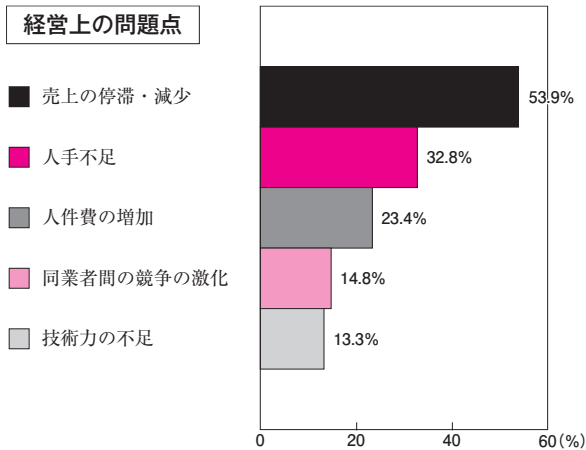


業況は悪化、来期はやや改善の見通し

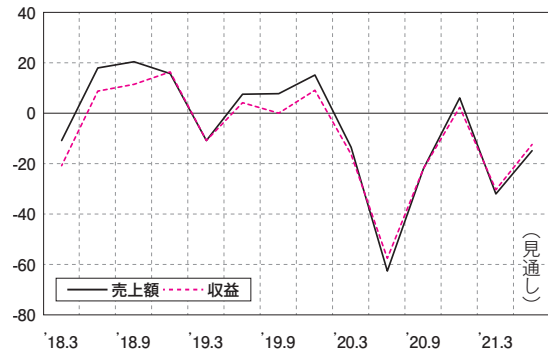
売上額D Iは▲32.0、収益D Iは▲30.4でともに大幅に悪化しました。資金繰りD Iは▲15.6でほぼ横ばいでした。価格は材料価格D Iが10.2で横ばい、料金価格D Iは▲5.5で低下しました。来期は、売上額D I、収益D Iともに改善の見通しです。価格は材料価格D I、料金価格D Iともにやや上昇の見通しです。業況D Iは▲39.1で悪化。来期はやや改善の見通しです。

前期	今期	見通し

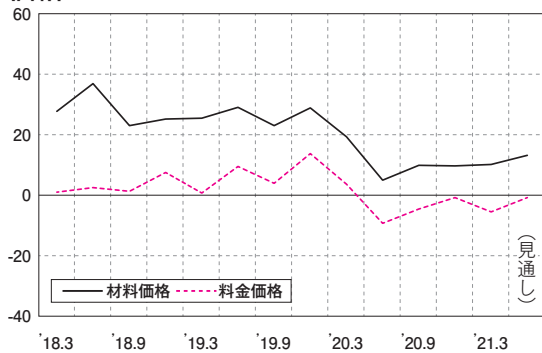
経営上の問題点



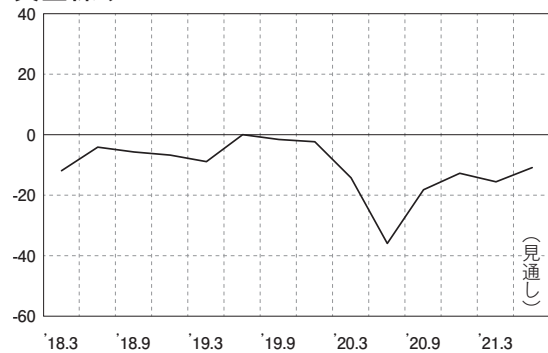
売上額・収益D I (前期比)



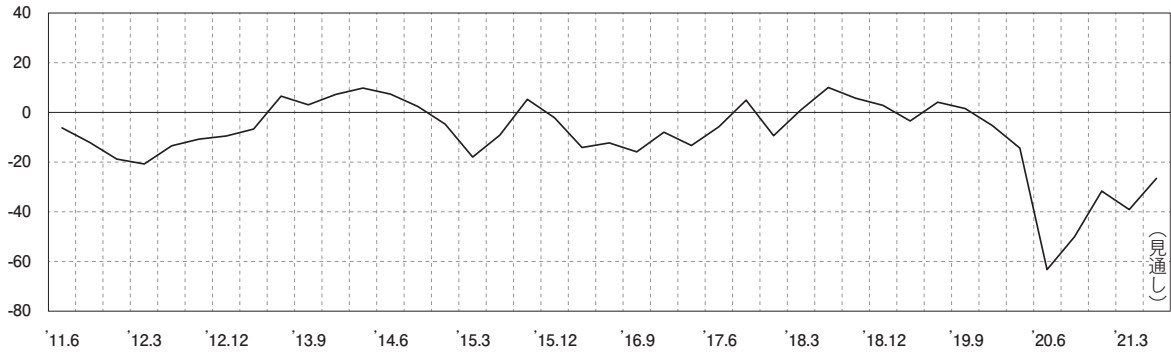
価格D I



資金繰りD I



10年間の推移 (業況D I)



お客様の声

・コロナ禍において弊社取引先(大手企業)のモチベーションが下がっている為に営業力が反映されにくい。交渉も面談自体控えめにしているが営業も若干進めにくい。
(茨木市 カタログ通販企画、プロデュース・コンサルタント業)

・コロナ禍に於いても介護需要は継続しており売上は順調に推移しているものの今後は介護報酬改定による売上減少が見込まれ代金回収率の低下も懸念される。コロナの影響による従業員の精神的負担、人材確保難が予想される。
(大阪市 調剤薬局、有料老人ホーム経営)